

第2回 JR 姫新線維持・利用促進ワーキングチーム議事要旨

日時 令和7年12月15日(月) 14:15~16:00

場所 兵庫県龍野庁舎 第1会議室

出席者 別添出席者名簿のとおり

1 開会あいさつ

【溝垣委員(西播磨県民局 副局長)】

年末のご多忙の中、本会議に出席いただき感謝申し上げます。

姫新線については、令和4年度に、全県協議会(ラウンドテーブル)および路線ごとのワーキングチームが結成される以前から地域一体となって利用促進に取り組んできたところである。

利用促進は、短期間で効果が現れるものではないが、現状の悪化を防ぎ、将来的な利用増につなげていくこと、そして何より地域に愛される路線となるよう、腰を据えた取組が重要である。

来年には姫新線開通90周年を迎える。昭和5年より姫路から延伸を重ね、昭和11年に佐用~美作江見間が開通したことで、姫新線と名称をかえ、以降90年間の歴史を刻んできた。現在、姫新線利用促進・活性化同盟会において、記念行事の検討が進められていると聞いている。県民局としても、さらなる活性化に向け、さまざまな取組を進めていきたい。

本日は、今年度および来年度の取組検討状況、第1回ワーキングチームで出された意見への対応状況等について意見交換を行い、今後の取組に生かしていきたい。実りある会議となることを期待し、開会の挨拶とする。

2 議題

(1) 令和7年度取組状況報告【各委員から説明】 (資料1-1、資料1-2)

(2) 令和8年度取組(案)の検討【各委員から説明】 (資料2、資料3)

〈議題1・2に対して意見なし〉

(3) 第1回姫新線WTにおける意見への対応等【事務局等から説明】(資料4)

①意見への対応状況

【尾崎委員(JR西日本兵庫支社課長)】

姫新線ワーキングチームは、利用促進策を議論・検討する場である。だからこそ、利用状況についても議論し、その現状を確認することは必要であると考えている。

また、市長・町長レベル、県民局長レベルでワーキングチームを開催することにより、マスコミの取材や報道などを通じて注目度が高まり、結果として沿線住民が姫新線を「自分ごと」として捉える効果が期待できると考えている。そうした理由から、より高いレベルでの開催が望ましいと考えている。

【石井委員（しんぐうNext会長）】

沿線の取組については、たつの市と佐用町を分けるのではなく、沿線全体を一体として捉えることが重要である。同じ沿線地域でありながら、自治体ごとに異なる対応やノベルティを用意するのは効果的とは言えない。

沿線で実施するイベントについては、同一のノベルティや景品を配布することで、利用促進の効果が高まると考える。そのようなノベルティがあれば、各種イベントでの配布や情報提供など、幅広い場面で活用できる。

民間がイベントチラシを作成する際に、「JR 姫新線利用促進」等の文字を入れることで、行政が印刷代を補助する仕組みができないか。補助があれば記載してくれる団体は増えると思う。景品やチラシなどの共通点を持つことでより効果的な利用促進になるのでは。

【谷口委員（コバコ株式会社 代表取締役）】

一つ目は、本ワーキングチームの構成員に関するものである。姫新線の主な利用者は高校生が圧倒的に多く、近年は外国人利用者も増えている。一方で、本会議には、日常的に姫新線を利用している利用者層が十分に参画していないのではないかと考えており、本会議に主要な利用者の声をより反映させる必要があると考えている。

二つ目は、観光利用の促進についてである。岡山県で開催された森の芸術祭では約 50 万人の来場者があったと聞いている。そのうちの程度が姫新線を利用したかは不明である。観光目的で、普段姫新線を利用しない人に乗ってもらうには、小規模なイベントを多数実施するだけでは成果が出にくい。そのため、大規模なイベントや集客力のある取組に、予算・知恵・人材を重点的に投入することも検討すべきではないかと考えている。

②資料等の公開について

【衣笠（WT事務局）】

姫新線ワーキングチームの資料の取扱い等について意見を伺いたい。

現在、姫新線ワーキングチームでは、会議終了後、次第のみをホームページで公開している。今後は、姫新線以外の路線のワーキングチームの状況を

踏まえて、①資料については、基本は公開する。ただし、次年度予算など、議会での可決前の情報などが含まれる場合は、予算可決後に、各委員に資料の内容を照会し、了承を得たものを公開する。②出席者名簿については、役職・氏名を公開する。③議事要旨については、事務局で作成し、各委員に発言内容を確認していただいたのちに公開する。④会議については、希望があれば、会議冒頭（開会あいさつ）のみ写真撮影を可とし、会議終了後に記者へのブリーフィングを行う方向で進める。このような方向で資料等の公開を進めようと思うが、意見を伺いたい。

〈意見なし〉

〈今後の方向性〉

- ①資料：公開（但し、公開前に各委員に照会后、了承をとれた場合のみ）
- ②出席者名簿：公開
- ③議事要旨：公開
- ④会議：会議冒頭（開会あいさつ）のみ写真撮影可
会議終了後記者へのブリーフィングを検討

（４）その他

- ①岡山県・姫新線ワーキングチームの活動状況（資料５）
【丸山オブザーバー（美作県民局地域づくり推進課振興班主任）から説明】
- ②姫新線ご利用状況（資料６）
【尾崎委員（ＪＲ西日本兵庫支社課長）から説明】
- ③ローカル線イベントアンケート調査（資料７）
【小林（ＷＴ事務局）から説明】
- ④ＪＲ西日本兵庫支社からの意見
【尾崎委員（ＪＲ西日本兵庫支社課長）】

利用促進の議論・検討の場である姫新線WTとして、姫新線（播磨新宮～上月間）の利用促進の目標と期限を定める必要があると考えている。

また、鉄道を利用していない方に、どのような移動ニーズがあるのか、なぜ車を利用するのか等を踏まえて、地域の方にとって最適な移動手段は何かという地域公共交通のあり方について、まちづくりと合わせて議論する必要があると考えている。

4 閉 会

【衣笠（WT事務局）】

長時間にわたり貴重なご意見等を頂戴し、お礼を申し上げます。

また、来年度の姫新線開通 90 周年を契機として、利用促進の機運を一層盛り上げていただきたい。引き続き、利用促進のための事業実施等にご理解とご協力を賜るよう、よろしくお願い申し上げます。

以上をもって、第 2 回のワーキングチーム会議を閉会する。